

作業途中

第5回えべつ未来市民会議

「環境・文化部会」（平成24.5.14）

	短期(すぐにでも)	中期(5年程度)	長期(10年程度)	
ハード	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの視点を取り入れた行政サービス 住宅街の自然環境の保全 大きな桜並木など今の環境をさらに良いものにし住民交流の場に整備 身近に憩える場所が必要 ごみの資源化、資源回収が普及しており、リサイクル率が高い 	<ul style="list-style-type: none"> 文化施設の終日利用のため、周辺で食事ができる環境整備 施設設備にあたっての市民意向の把握 ごみ焼却場の熱、下水処理場のメタンガスを利用 スポーツ振興による健康管理で市の特色を 江別高校の跡地の有効活用 上水道、下水道料金が高く、水質が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光、風力、水力の活用 文化施設の充実が必要 環境先進都市の米国ポートランドを参考にしたまちづくり 市役所が分散し、かつ老朽化している エネルギーの地産地消 スポーツ施設の充実が必要 	
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> 業者のプラスチックリサイクルの徹底 市民会議意見の総合計画への反映 行政を監視する市民会議の設置 学生による環境学習ツアーのボランティアガイド ホームページの充実 野幌森林公園を利用した環境学習ツアーの実施 PMFの誘致 既存の公園の再整備による街中自然の保全・充実 公園周辺の環境を保全するルールづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ご当地マラソンを開催し、市民全員で応援 江別の歴史を学び、子どもたちに教える 職員が異動すると話がつながらなくなるため、引継をしっかりとすべき 市民ニーズの多様化にあわせた市役所の体制整備が必要 大麻中央公園や湯川公園をホテル舞う里にし自然環境都市をPR 市民が積極的にまちづくりに参加できる市民参加条例の制定が必要 「人が輝く共生のまち」というキャッチフレーズが分かりにくい 	<ul style="list-style-type: none"> 吹奏楽を学校に定着させるため専門の指導者を配置（楽器の提供） 有名人によるふるさと納税（大泉 洋等） 市の税収アップ 経済基盤の強化のため、重点分野の指針の明確化が必要 やきもの市を盛り立てる（セラミックアートセンターを利用） 	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会長あてに総合計画の必要な資料が必要 子育て支援、福祉サービス等に繋がる経済力のあるまちづくり 雪のエネルギー活用 札幌に頼らない独自の行政 札幌より雪が多い スポーツ振興会をつくり、指導者を育成して、各学校で指導 スポーツ振興のための指導者の育成 住民税の負担を軽くする 泥炭土の活用 北電サッカー場の「ノルブリック北海道」を市民が一丸となって応援
ハートづくり	<ul style="list-style-type: none"> 江別の良い所を探そう 「江別マダム」など市として一貫したイメージづくり きめ細やかな市民サービスの実施 市役所のワンストップサービス 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地開発の方向性の検討には住民と行政のコミュニケーションが必要 市役所のどこが窓口なのか不明確（たらいまわし） 市役所窓口のワンストップ化が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 文化行政が弱い 市役所の中で情報共有がなされていない 屯田兵の歴史があるまちであることを知ってもらう必要がある 児童・生徒の学力の向上を目指すまち 都市と農村の調和のあるまち 	<ul style="list-style-type: none"> ことなかれ主義の組織風土の改善が必要 芸術的な街をめざす 江別の自慢を言えるようにする